

【別添】

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

【団体名： _____】
 【記載日： _____】

【対応状況に係る自己評価】

- A：対応している
- B：一部対応している
- C：対応できていない

対応状況欄にA、B、Cいずれかを記入
 「C」の場合は、「対応できていない理由」と「どうすればいつ頃対応できそうか」等を記入

項目	対応状況
原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	↑
※任意団体の場合は記入不要 <例> ○NPO法人の場合……「特定非営利活動法人促進法」を遵守している。 ○一般社団法人の場合……「一般社団法人に関する法律」を遵守している。	A、B、Cいずれかを 記入(以下同様)
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	↓
※法人格を有する団体の場合は記入不要 <例> ○規約を定めている場合 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 団体としての権利義務関係を明確化するため、規約を定め次のとおりそれを遵守している。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 多数決の原理で物事を決定している。 ✓ 団体の構成員の変更があったとしても団体が存続し、代表の決定方法や財産の管理等の団体としての主要な事項を確定させることができる。 ✓ 個人の私的な口座で財産の管理・運営を行うのではなく、団体活動のための専用の口座を用い、財産を分別して管理・運営している。 ○規約（規程等）を定めていない場合 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 所属する団員が10名程度であることから、現時点では団体としての規約を定めず、必要に応じて役員が協議し物事を決定しているが、今後、団体の役員間で協議し、令和〇年度に、団体としての権利義務関係を明確化するための規約を整備する。当該規約の整備にあたっては、公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団が策定した規約例を参考にする。 	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
<例> ▪ 公共施設を用いて大会やイベントを行う際には、当該施設の使用に係る規則や、当該施設を所管する地方公共団体が定める安全管理に関する条例等を遵守する。	

項目	対応状況
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
<p><例></p> <p>○体制を整備している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役員が団体の構成員に対して、定期的に決算や事業報告等を行っている。 ・ 会報等を発行し、定期的に団体の運営状況を団体の構成員に報告している。 <p>○体制が整備されていない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点では団体としての規約が整備されていないため、令和〇年度までに策定のうえ、役員が団体の構成員に対して、定期的に決算や事業報告を行うこととする。 	
原則2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
<p><例></p> <p>○策定している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体として目指すべき基本方針（ミッション、ビジョン）を策定し、団体のホームページや市報の団体紹介ページで公表している。 <p>○策定していない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点では策定できていないが、令和〇年度までに策定し公表する。なお、策定にあたっては、団体の構成員を広く参画させる。 	
原則3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
<p><例></p> <p>○実施している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年に1回、役員、スタッフを対象に、暴力行為やセクハラ、パワハラ行為等防止のためのコンプライアンス研修を行っている。 ・ 役員、スタッフは、年に1回、都道府県（市区町村）が開催するコンプライアンスに関する研修会に参加している。 <p>○実施していない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点ではコンプライアンス教育の実施ができていないが、令和〇年度からは年に1回、役員、スタッフを対象とした研修会を開催する。 	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
<p><例></p> <p>○実施している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年に1回、指導者を対象に、暴力行為やセクハラ、パワハラ行為等防止のためのコンプライアンス研修を行っている。 ・ 指導者は、年に1回、都道府県（市区町村）が開催するコンプライアンスに関する研修会に参加している。 <p>○実施していない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点ではコンプライアンス教育の実施ができていないが、令和〇年度からは年に1回、指導者を対象とした研修会を開催する。 	

項目	対応状況
原則4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
<p data-bbox="182 343 236 359"><例></p> <p data-bbox="182 363 576 384">○団体の規約に会計処理に関する定めがある場合</p> <ul data-bbox="202 387 938 427" style="list-style-type: none"> ・ 団体の会計処理が適切に行われるよう、団体の規約に必要な事項を定め、そのとおり処理している。 <p data-bbox="182 432 899 453">○団体の規約に会計処理に関する定めがない、または規約（規程等）を定めていない場合</p> <ul data-bbox="202 456 938 518" style="list-style-type: none"> ・ 現時点では団体の規約に会計処理に関する定めがないため（団体としての規約が整備されていないため）、令和〇年度末までには定めることとする。なお、規約の整備にあたっては、公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団が策定した規約例を参考にする。 	
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
<p data-bbox="182 630 236 646"><例></p> <ul data-bbox="202 651 938 691" style="list-style-type: none"> ・ 市区町村から補助金を受ける際は、市区町村が定める当該補助金に関する実施要項等を遵守している。 <p data-bbox="197 694 938 734">※公的助成を受けていない場合は、「現時点では公的助成を受けていないが、今後受給する場合は、助成団体が定める実施要項等を遵守する」旨を記入すること等も考えられる。</p>	
(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
<p data-bbox="182 813 236 829"><例></p> <p data-bbox="182 834 397 855">○体制を整備している場合</p> <ul data-bbox="202 858 938 898" style="list-style-type: none"> ・ 団体の規約に基づき、監事による監査を行うとともに、定時育成母集団総会において前年度の会計に関する計算書類の承認を受けている。 <p data-bbox="182 901 790 922">○体制が整備されていない場合、または規約（規程等）を定めていない場合</p> <ul data-bbox="202 925 938 987" style="list-style-type: none"> ・ 現時点では団体の規約に監査体制に関する定めがないため（団体としての規約が整備されていないため）、令和〇年度末までには定めることとする。なお、規約の整備にあたっては、公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団が策定した規約例を参考にする。 	
原則5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
<p data-bbox="182 1133 236 1149"><例></p> <p data-bbox="182 1153 344 1174">○実施している場合</p> <ul data-bbox="202 1177 938 1217" style="list-style-type: none"> ・ 団体のホームページや団体が地域住民に向けて定期的に発行している会報において、役員体制や会計処理に関する情報を掲載している。 <p data-bbox="182 1220 362 1241">○実施していない場合</p> <ul data-bbox="202 1244 938 1307" style="list-style-type: none"> ・ 現時点では団体のホームページや団体が定期的に発行する会報等はないが、令和〇年度までには地域住民が団体の役員体制や会計処理に関する情報を閲覧できるような広報活動を行う。 	

項目	対応状況
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。 (現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)	
<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p><例> ○実施している場合 ・団体のホームページや団体が地域住民に向けて定期的に発行している会報において、スポーツ団体ガバナンスコードの遵守状況（セルフチェックシートの記入内容）を公開している。 ○実施していない場合 ・現時点では団体のホームページや団体が定期的に発行する会報等はないが、令和〇年度までには地域住民に対する広報活動を行い、当該活動においてスポーツ団体ガバナンスコードの遵守状況（セルフチェックシートの記入内容）を公開する。</p> </div>	
<p>原則 6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。</p>	
<p>自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF向け>の規定があるか（ある場合は下欄に記述）</p>	
<p>原則 6 について</p>	
<p>▲(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <div style="border: 1px dashed green; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>原則6は、プロスポーツ団体等、社会的影響が大きいスポーツ団体を対象として想定しているものであるが、遵守できている又は今後遵守が可能と思われるNF向けのガバナンスコードの個別の規定がある場合は記述する。</p> </div>	

遵守できている又は今後遵守が可能と思われるNF向けのガバナンスコードの個別の規定の番号・内容を記入

セルフチェックシート等を用いたガバナンスコードの遵守状況に関する自己説明は、定期的に作成し、公表することが望まれます。団体のホームページ等で広く公表することが難しい場合には、ステークホルダー（団員をはじめとした関係者等）への説明方法として、団体が定期的に発行する会報等に掲載したり、年に1度、定時総会で説明するといった方法も考えられます。

日本スポーツ振興センターが運営するスポーツガバナンスウェブサイトを活用して公表することも可能です。

日本スポーツ振興センター「スポーツガバナンスウェブサイト」

<https://www.sg-web.jpnsport.go.jp/sgw/Top>

